

令和4年度 子育て応援カード事業に関するアンケート調査結果報告書

1 調査の目的

子育て応援カード事業を開始してから、9年が経過し、協賛店舗数は140店舗を超え、順調に拡大していますが、市では、カード利用者及び協賛企業・店舗の方々の声をお聞きし、子育て応援カード事業をより利便性の高いものになりたいと考え、協賛店に対しアンケート調査を実施した。

2 調査の対象 子育て応援カード事業協賛店企業 142店舗(令和4年6月末現在)

3 調査方法 アンケート用紙を配布し、FAX、メール、新発田市電子申請システムのいずれかで回答を依頼した。

4 実施期間 令和4年7月1日(金)から令和4年7月29日(金)

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
140	48	34.3%

※2店舗が廃業等でアンケート調査票が返送された。

調査は新発田市子育て応援カード事業協賛店142店舗を対象とし、アンケート調査票の配布・回収を行った。配布数140件に対し、48件の回収、回収率34.2%という結果になった。

6 調査結果

子育て応援カード事業を行うことによって得られる効果として、「子育て世帯への経済的負担の軽減」と回答しています。しかし、協賛店の多くが協賛したことによる効果として「特に効果等は感じられない」と回答しており、子育て支援や集客アップや企業・店舗のイメージアップには繋がらない現状が伺えます。

また、協賛店の登録に際しての課題に「特に課題はない」と多くが回答していますが、実施しているサービス内容で料金割引を実施している協賛店は「サービス提供に係る経費負担感が重い」と回答しておりサービスが負担に感じている現状が伺えます。

妊婦への拡大した場合には「協賛(協力)できる」とは62.5%で、「現状のママがいい」が12.5%となっています。

配布枚数の拡大については「協賛(協力)できる」は43.8%、「現状のママがいい」が20.8%となっています。

相互エリアの事業拡充については、「協賛(協力)できる」は56.3%、「現状のママがいい」は18.8%となっています。

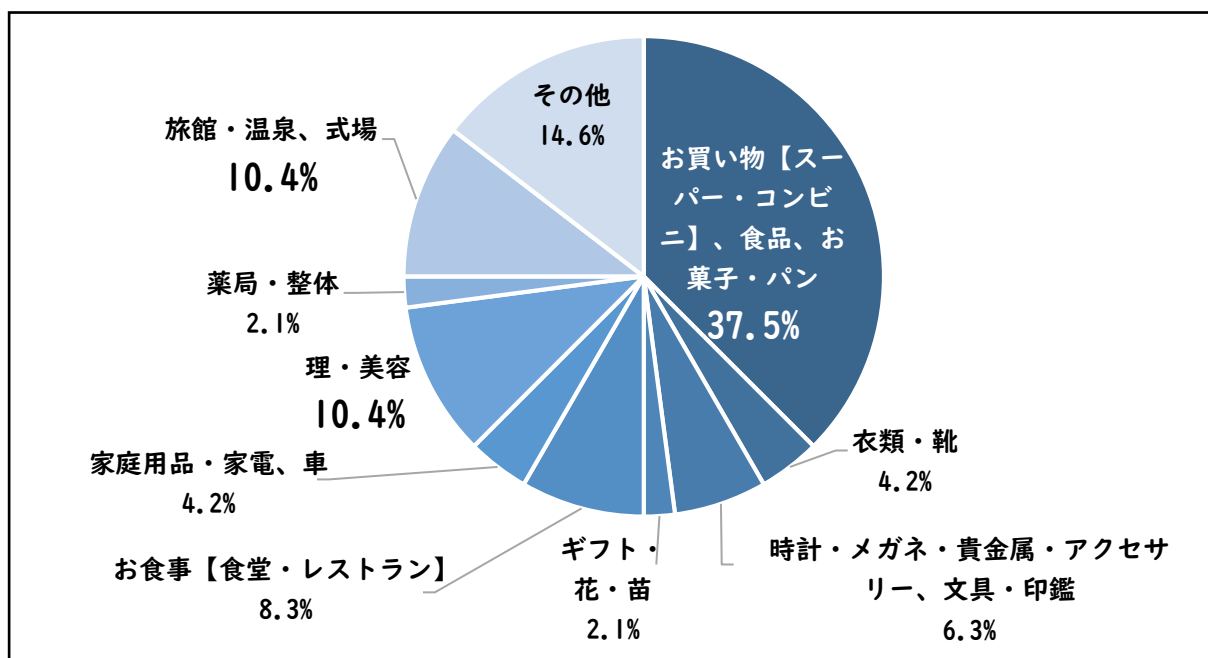
事業の拡大については、今後慎重に検討していかなければならない状況が伺えます。

問1 貴協賛店の業種を教えてください。(1つ選択)

問1	回答数	割合
お買い物【スーパー・コンビニ】、食品、お菓子・パン	18	37.5%
衣類・靴	2	4.2%
時計・メガネ・貴金属・アクセサリー、文具・印鑑	3	6.3%
ギフト・花・苗	1	2.1%
お食事【食堂・レストラン】	4	8.3%
家庭用品・家電、車	2	4.2%
理・美容	5	10.4%
薬局・整体	1	2.1%
写真・カラオケ	0	0.0%
旅館・温泉、式場	5	10.4%
習い事	0	0.0%
その他	7	14.6%
合計	48	

「その他」の回答内容

管工事業、リフォーム・修理・修繕、ハウスクリーニング、サービス業、畳製造業、不動産会社、自動車整備工場



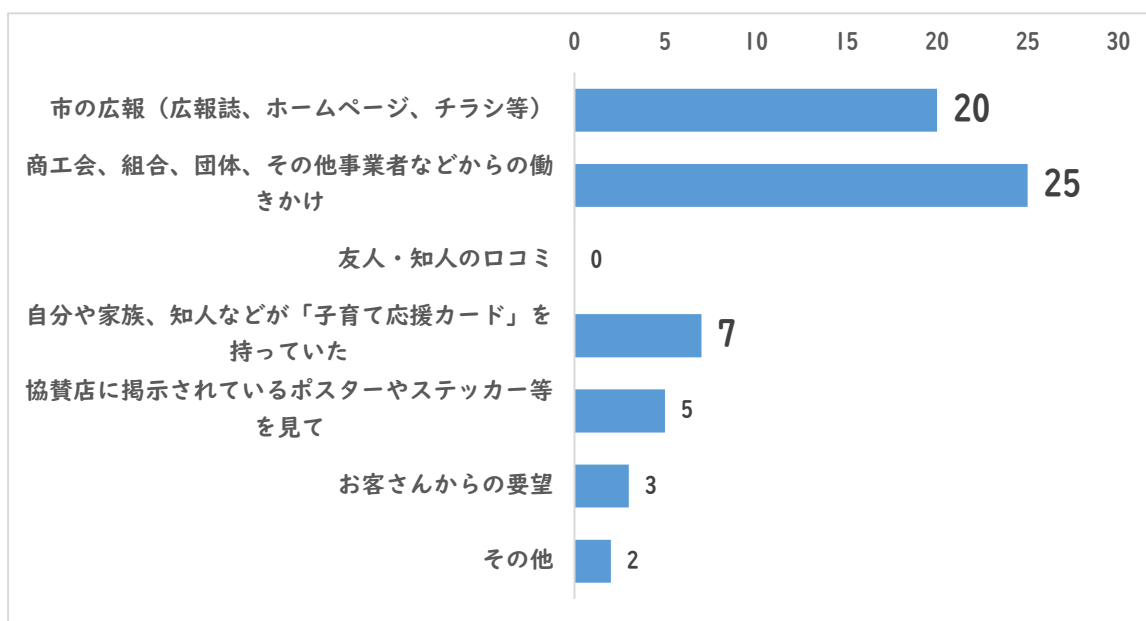
今回、アンケートに回答いただいた協賛店の業種では、「お買い物【スーパー・コンビニ】、食品、お菓子・パン」が最も多く、37.5%であった。次に「理・美容」10.4%、「旅館・温泉、式場」10.4%となっている。

問2 「子育て応援カード」をどのように知りましたか。(複数選択可)

問 2	回答数
市の広報（広報誌、ホームページ、チラシ等）	20
商工会、組合、団体、その他事業者などからの働きかけ	25
友人・知人の口コミ	0
自分や家族、知人などが「子育て応援カード」を持っていた	7
協賛店に掲示されているポスターやステッカー等を見て	5
お客さんからの要望	3
その他	2
合計	62

「その他」の回答内容

- ・最初に市役所の方が来たから
- ・こども課からの依頼



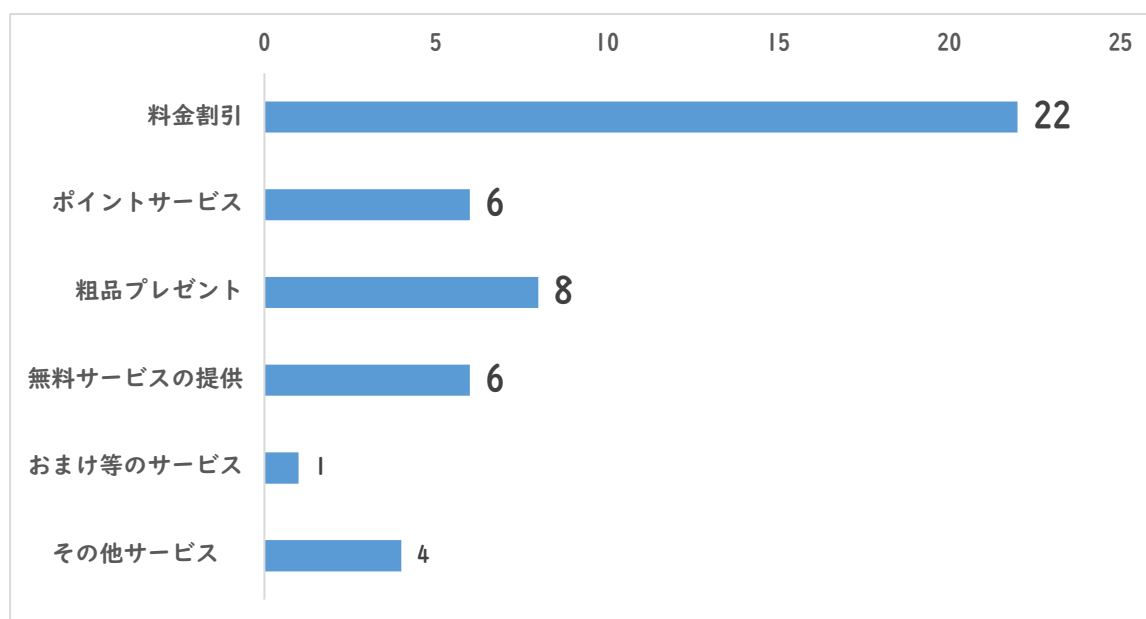
「子育て応援カード事業」のきっかけについては、「商工会、組合、団体、その他事業者などからの働きかけ」が 25件と一番多く、次いで「市の広報」20 件、自分や家族、知人などが「子育て応援カード」を持っていたが 7 件となっている。

問3 現在実施いただいているサービス内容について教えてください。(複数選択可)

問 3	回答数
料金割引	22
ポイントサービス	6
粗品プレゼント	8
無料サービスの提供	6
おまけ等のサービス	1
その他サービス	4
合計	47

「その他」の回答内容

- ・スタンプサービス
- ・新発田市いきいきスタンプの進呈
- ・送料半額
- ・いきいきスタンプのお買い上げレシートと子育てきらきらカードをお持ちいただくと抽選で毎月10名様に500円分のお買物券をプレゼント!

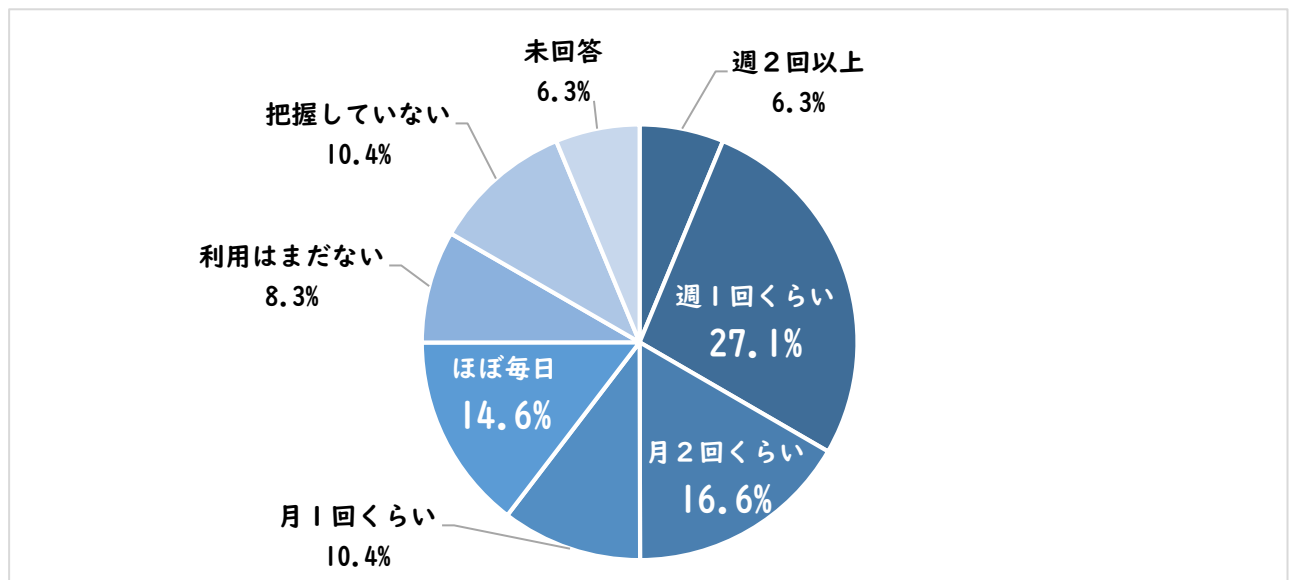


現在実施いただいているサービス内容については、「料金割引」が22件と一番多く、次いで「粗品プレゼント」が8件、次いで「ポイントサービス」、「無料サービスの提供」が6件となっている。

問4 どのくらい「子育て応援カード」の利用がありますか。(1つ選択)

※複数の店舗が協賛している場合は、各店舗のおおよその平均利用回数をお答えください。

問 4	回答数	割合
週2回以上	3	6.3%
週1回くらい	13	27.1%
月2回くらい	8	16.6%
月1回くらい	5	10.4%
ほぼ毎日	7	14.6%
利用はまだない	4	8.3%
把握していない	5	10.4%
未回答	3	6.3%
合計	48	



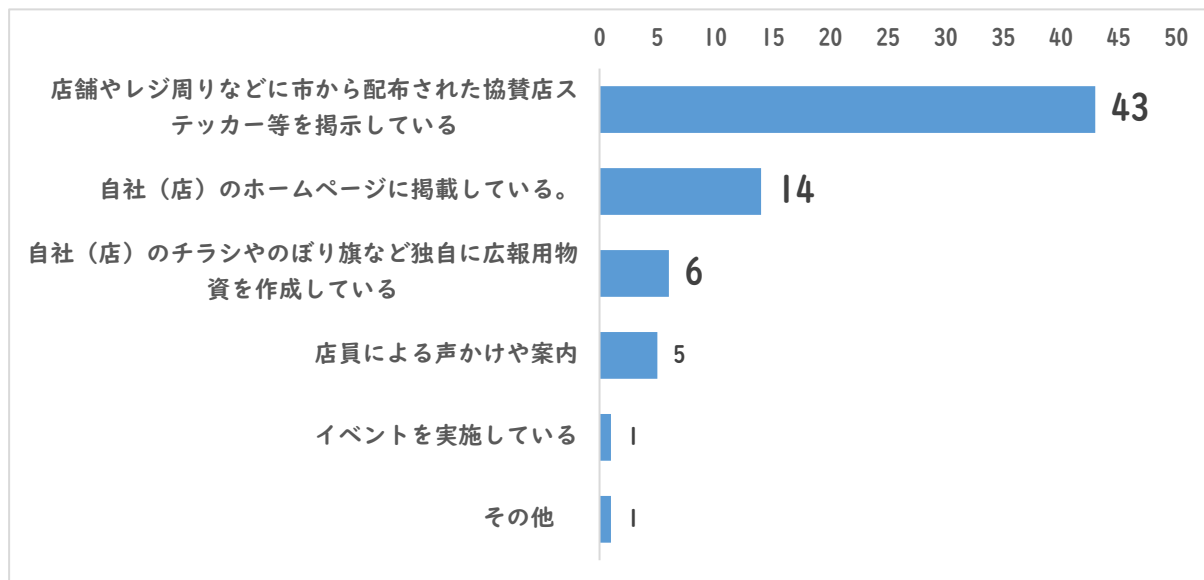
「子育て応援カード」の利用頻度としては、「週1回くらい」が最も多く27.1%で次いで、「月2回くらい」が16.6%、次いで「ほぼ毎日」が14.6%となっている。

問5 協賛店であることをどのように周知していますか。(複数選択可)

問5	回答数
店舗やレジ周りなどに市から配布された協賛店ステッカー等を掲示している	43
自社(店)のホームページに掲載している。	14
自社(店)のチラシやのぼり旗など独自に広報用物資を作成している	6
店員による声かけや案内	5
イベントを実施している	1
その他	1
合計	70

「その他」の回答内容

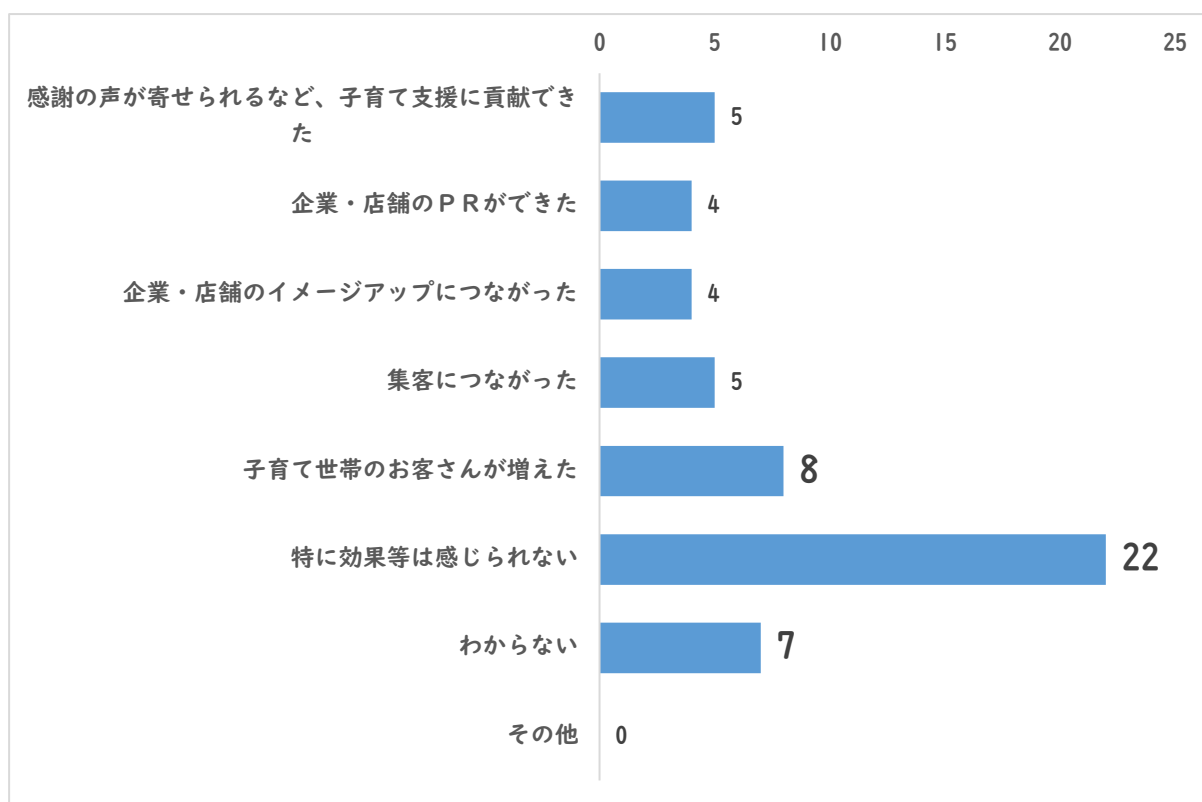
- ・インスタグラムに投稿



協賛店の周知方法としては、「店舗やレジ周りなどに市から配布された協賛店ステッカー等と掲示している」が最も多く43件で次いで、「自社(店)のホームページに掲載している」が14件、次いで「自社(店)のチラシやのぼり旗など独自に広報用物資を作成している」が6件となっている。

問6 協賛したことによる効果は、ありましたか（複数選択可）

問 4	回答数
感謝の声が寄せられるなど、子育て支援に貢献できた	5
企業・店舗のPRができた	4
企業・店舗のイメージアップにつながった	4
集客につながった	5
子育て世帯のお客さんが増えた	8
特に効果等は感じられない	22
わからない	7
その他	0
合計	55



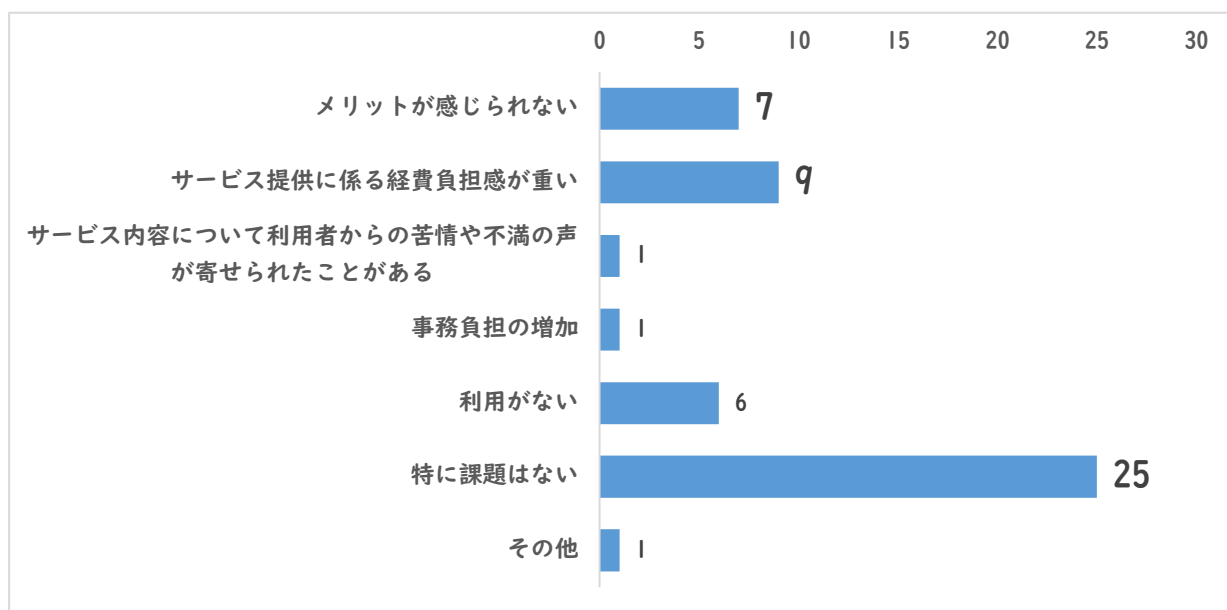
協賛したことによる効果としては、「特に効果等は感じられない」が最も多く 22 件で次いで、「子育て世帯のお客さんが増えた」が 8 件、次いで「わからない」が7件となっている。

問7 協賛店の登録に際しての課題について教えてください。(複数選択可)

問7	回答数
メリットが感じられない	7
サービス提供に係る経費負担感が重い	9
サービス内容について利用者からの苦情や不満の声が寄せられたことがある	1
事務負担の増加	1
利用がない	6
特に課題はない	25
その他	1
合計	50

「その他」の回答内容

- ・子育て支援を受ける家庭、世帯以外は恩恵がなく不公平感を持っている人は多い。シニア世代や子供がいない世帯には店舗側がサポートする必要性を感じる。



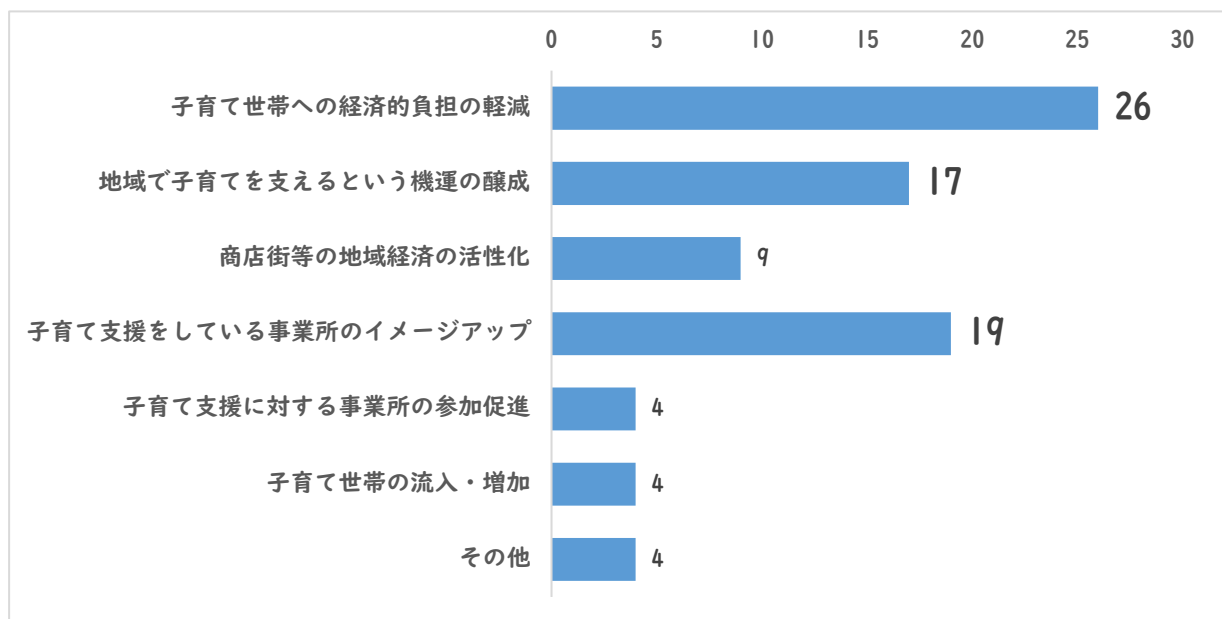
協賛したことによる課題としては、「特に課題がない」が最も多く25件で次いで、「サービス提供に係る経費負担感が重い」が9件、次いで「メリットが感じられない」が7件となっている。

問8 この取組を行うことによって、子育て家庭・事業所・地域を含め、全体として、どのような効果が得られると思いますか。(複数選択可)

問 8	回答数
子育て世帯への経済的負担の軽減	26
地域で子育てを支えるという機運の醸成	17
商店街等の地域経済の活性化	9
子育て支援をしている事業所のイメージアップ	19
子育て支援に対する事業所の参加促進	4
子育て世帯の流入・増加	4
その他	4
合計	83

「その他」の回答内容

- ・サービス内容によっては子育て世帯への経済的負担の軽減になると思います
- ・ユーザーの定着
- ・子育て世代の方のお客様が增多ると良いと思っているが、現時点ではまだそれほどの実感がない。



子育てカード事業についての効果としては、「子育て世帯への経済的負担の軽減」が最も多く 26 件で次いで、「子育て支援をしている事業所のイメージアップ」が19件、次いで「地域で子育てを支えるという機運の醸成」が17件となっている。

問9 令和4年4月より新潟市との連携事業が行われていますが、新潟市では妊婦も対象とし、また子ども一人につき1枚発行しています。今後、利用対象者や内容を拡大した場合、引き続き、協賛いただけますでしょうか。

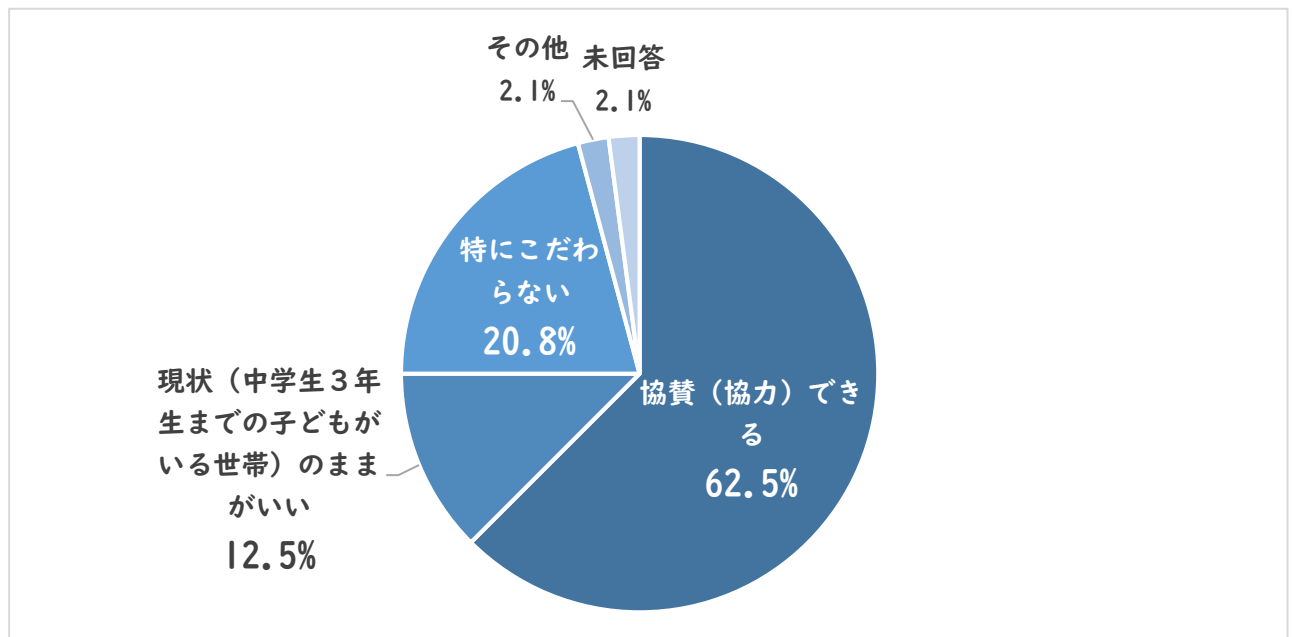
9-1 妊婦の方も対象にする

(はじめでの出産の妊婦は年間250人から350人を推計しています)

問9-1	回答数	割合
協賛(協力)できる	30	62.5%
現状(中学生3年生までの子どもがいる世帯)のままがいい	6	12.5%
特にこだわらない	10	20.8%
その他	1	2.1%
未回答	1	2.1%
合計	48	

「その他」の回答内容

・本社の確認が必要になるが、協賛できると思う。



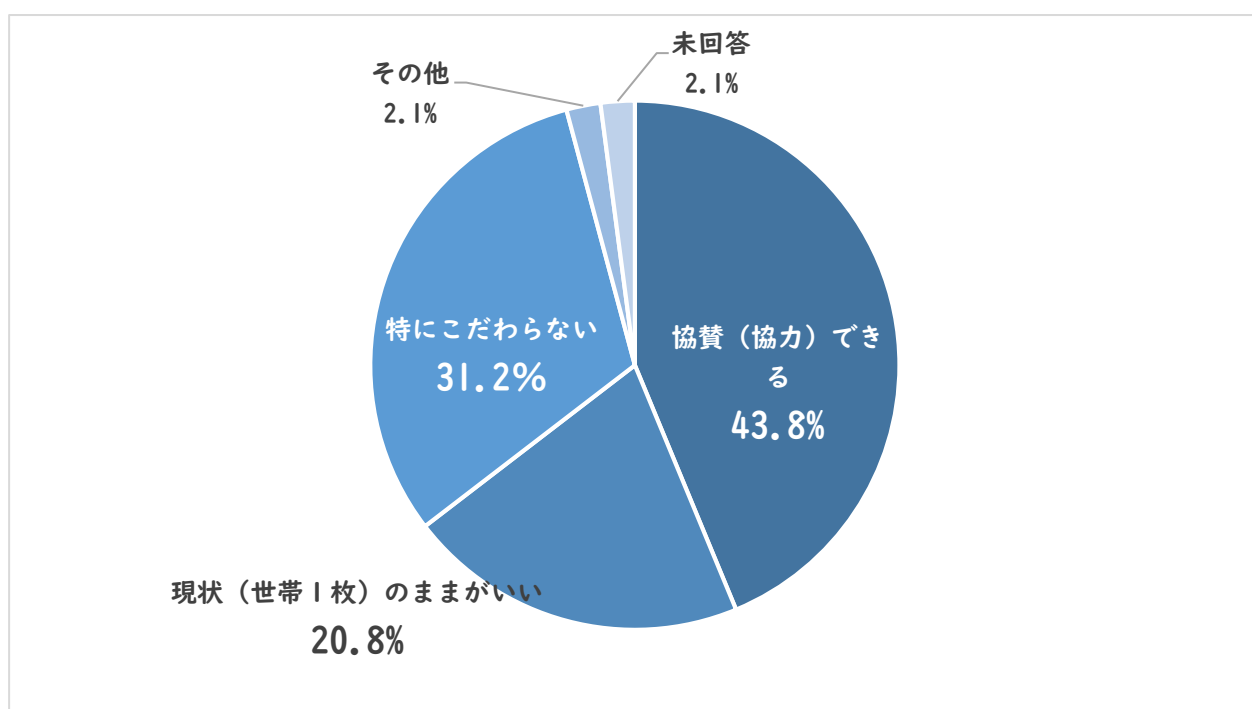
妊婦への対象拡大については、「協賛(協力)できる」が最も多く 62.5%で次いで、「特にこだわらない」が 20.8%、次いで「現状(中学生 3 年生までの子どもがいる世帯)のままがいい」が 12.5%となっている。

9-2 配布枚数をお子さん1人につき1枚にする

問 9-2	回答数	割合
協賛(協力)できる	21	43.8%
現状(世帯1枚)のままがいい	10	20.8%
特にこだわらない	15	31.2%
その他	1	2.1%
未回答	1	2.1%
合計	48	

「その他」の回答内容

・明らかにカラーコピーをパウチした不正カードを提示されたことがある。

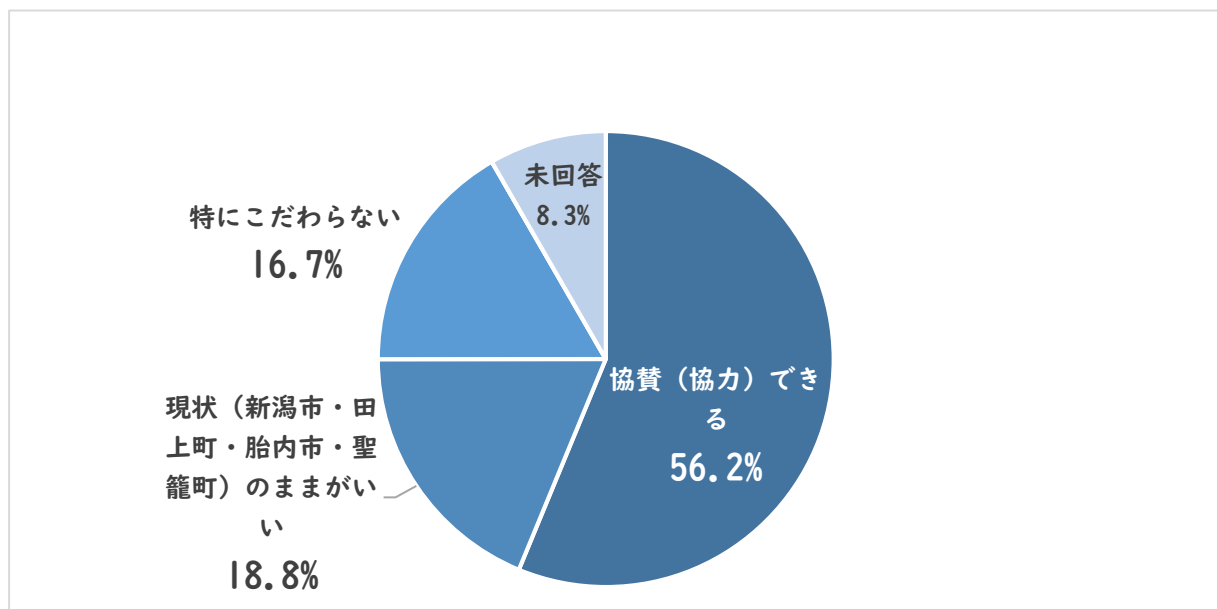


配布枚数の変更については、「協賛(協力)できる」が最も多く43.8%で次いで、「特にこだわらない」が31.2%、次いで「現状(世帯1枚)のままがいい」が20.8%となっている。

問 10 新たに、令和 5 年 4 月 1 日から加茂市と連携事業を開始し、相互のエリアで利用できるよう事業の拡充を検討しております。今後、拡大した場合、引き続き、協賛いただけますでしょうか。

(加茂市:中学生3年生以下の児童を養育する世帯は1,256世帯)

問 10	回答数	割合
協賛(協力)できる	27	56.2%
現状(新潟市・田上町・胎内市・聖籠町)のままがいい	9	18.8%
特にこだわらない	8	16.7%
その他	0	0.0%
未回答	4	8.3%
合計	48	



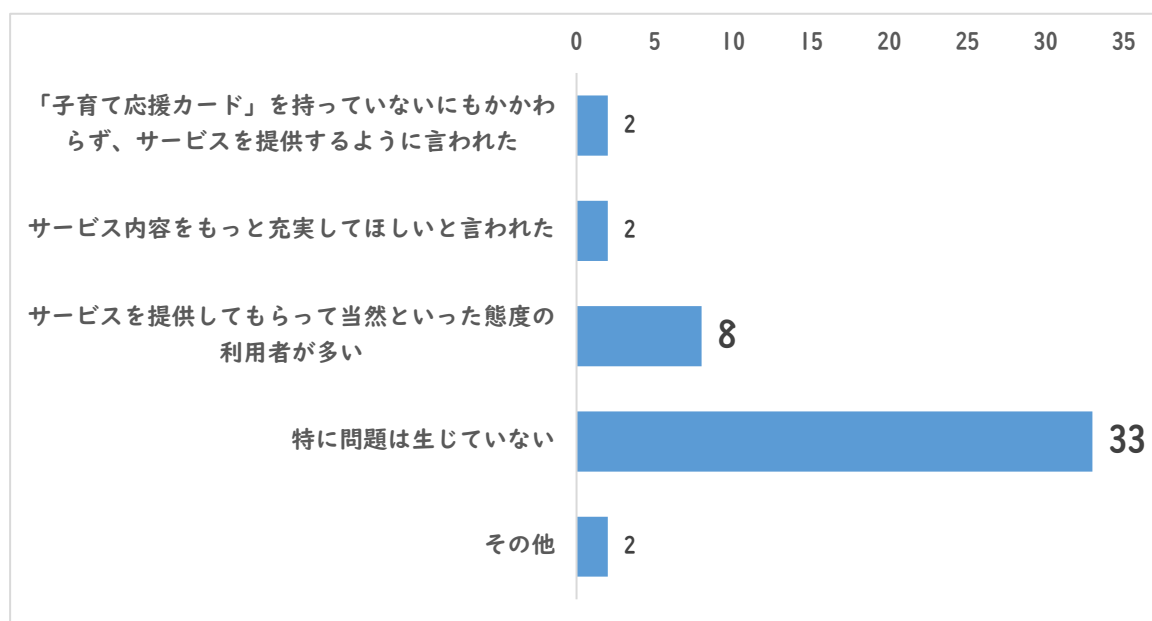
新たな広域事業を拡大した場合について、「協賛(協力)できる」が最も多く 56.2%で、次いで、「現状のままがいい」が 18.8%、次いで「特にこだわらない」が 16.7%となっている。

問 11 利用者との間で、以下のようなことはありましたか。(複数選択可)

問 11	回答数
「子育て応援カード」を持っていないにもかかわらず、サービスを提供するように言われた	2
サービス内容をもっと充実してほしいと言われた	2
サービスを提供してもらって当然といった態度の利用者が多い	8
特に問題は生じていない	33
その他	2
合計	47

「その他」の回答内容

- ・当店は値引きサービスでない為がっかりされることが多い
- ・サービスの提供範囲が分かりにくい。



問 12 現在の事業について御意見、改善してほしい点などがございましたらご記入ください。

- ・ 広域連携や対象の拡大は経費負担増に直結しており、また消費者イメージ・競合同業他社との関係からもサービス変更もできない八方塞がりの状況でありただただ経費負担だけが増え続けている現状です。対象拡大は何卒ご容赦いただきたくお願い致します。
- ・ 大手全国チェーンを含めたサービスでないという意味がないと思います。
- ・ 各協賛店と連携の強化
- ・ 市からの助成があるといい
- ・ 紙のカードだけでなくアプリなどの機能で会員証ができるとよいと思います。

問 13 その他、どんなことでも結構ですので、協賛してみてもの御意見、御感想をお聞かせください。

- ・ 他地域の連携をするならカードのデザインも統一感があつたほうがいい
- ・ 新発田(地元)に貢献できたと思って登録したが新潟市など連携先があつて正直驚くと同時に多くの方に応援できよかつたと思う
- ・ 協賛負担経費に対して行政より助成の制度などがあれば、対象拡大なども含めて検討できると思っております。自社の企業努力だけではこのご時世負担増は限界に来ております。